

<全体分析>

試験時間

100 分

解答形式

選択式と記述式

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・変化なし・**やや増加**・増加)

難易 (易化・やや易化・**変化なし**・やや難化・難化)

出題の特徴や昨年との変更点

22 年度と同様の出題形式であるが、第 1, 2 問の読解総合問題の配点がそれぞれ 40 点 (22 年度は各 35 点) になり、第 3 問の英作文の配点が 30 点から 20 点となり、読解重視の出題内容となった。読解問題では 22 年度に全体で 4 問出題されていた語句整序問題の出題が全体で 1 問になった。同意語句の本文中からの選択や、空所に入る適語の本文中からの選択、比較的英文量の多い内容一致問題など、大阪公立大学に特徴的な出題であること、大量の語句注が主に英語で与えられていることなど、例年通り。英作文は学部学科で異なる問題が出題されているのは 22 年度と同様であるが、22 年度と異なり、いずれの問題も英訳すべき箇所は 2 か所になった。

総語数は 1,871 語で、22 年度の 1,438 語から増加し、旧大阪市立大学として読解問題が 3 題出題されていた 21 年度とほぼ同じになった。

その他トピックス

第 2 問ではコロナウィルス感染症にまつわる「マスク問題」が取り上げられ、例年通り現代的なテーマの英文が出題されている。

<大問分析>

番号	区分	出題分野・テーマ	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
1	読解総合 (1,039 words)	「近視について」	問 1 : 直前のパラグラフの最終文に着目する。 問 2 : 下線部を含むパラグラフの後半の内容をまとめる。特に最終文の意味を理解することが求められていると思われるが、設問の立て方がやや曖昧である。 問 3 : いずれもいわゆるディスコースマーカーの補充が求められている。[ア]の likewise は「同様に」の意味。[イ]の though は「しかしながら」の意味の副詞。④の although にはこのような意味はない点に注意。 問 4 : 正解の myopia は本文のテーマとなっている語。 問 5 : “The 比較級 ..., the 比較級 ~” の訳出が問われているが、22 年度の直前講習の大阪公立大英語テスト第 2 講で扱った和訳問題と同様に、副詞節に相当する 1 つ目の the 比較級 ... が and で並列されている点に注意。 問 6 : いずれも直前のパラグラフに記述がある。 問 7 : ③は第 8 段落に一致。⑥は第 10 段落に一致。	標準
2	読解総合 (832 words)	「折り紙で作るマスク」	問 1 : 第 2 文の while 節中の an individual fold は「一つ一つの折り目」を表し、主節の主語である many は many folds の意味。while は〈対比・逆接〉を表す。make the paper sing は使役動詞の表現だが、比喩的な言い回しなので、意味を汲み取った意識も許容されるであろう。 問 2 : Newly inaugurated President Joe Biden に続く述部を作る。call for O to do は「O が…するように求	標準

3	英作文	下線部英訳	<p>める」の意味。並べ替えた英文は次の通り。 is calling for all Americans to wear a mask</p> <p>問3：第1問の間3同様にディスコースマーカーの補充問題。[あ]に入る Instead は「その代わりに;そうでなく」の意味。[い]に入る What's more は「さらに」の意味。</p> <p>問4：run short は「不足する」の意味。過去進行形になっている。running は第6 パラグラフの最後から3つめの文にある。</p> <p>問5：適切な素材を見つけるという最初の問題を解決した後に対処すべき第2の問題への橋渡しの部分。正解の②は「きちんと装着されていないければ、いかにフィルターが優れていても意味がない」の意味。</p> <p>問6：②は第11段落に一致。⑥は第7段落に一致。</p> <p>〈文学部など〉 いずれも話し言葉の英訳が求められている。言わんとしていることが的確につかむことが必要。(1)の「さすがのように」は敢えて直訳せず動詞を工夫することで含意させる。(2)の第1, 2文は1文にまとめて英訳するのが適切。(現代システム科学域など) 「国際英語論」に相当する英語表現は見だしにくい。直訳的なもので対処するしかないだろう。(2)は日本語の構造がやや入り組んでいるので、きちんと整理したうえで英訳すること。入試の和文英訳であるので、字句通りの訳出でよいだろう。</p>	標準
---	-----	-------	---	----

注：区分は「英文解釈」「読解総合」「英作文」「文法・語法」「聞き取り」「その他」

難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

大阪公立大学の読解総合では、下線部和訳、空所補充、語句整序、パラフレーズ、内容一致などさまざまな形式の出題がなされ、一定レベル以上の英語力が求められている。英作文では日本語らしい、従ってすぐには英語にはなりにくい日本語の内容を理解し英語に訳す力が求められている。来春の大阪公立大学の受験生に求められるのは、比較的高いレベルの総合的な英語力である。そのためにやるべきことは、日々オーソドックスな勉強を積み重ねることである。読解対策として、一文一文を文法や文構造を正しく理解しながら読み、日本語に訳す練習をすること。また、文と文の論理関係を考え、大きな流れをつかみながら読む練習も必要である。英作文対策としては、単語や例文をしっかりと覚え、文法的に正しい英文を書く練習から始め、最終的にはこなれた日本語を英語にする練習が必要である。